

かしま 議会だより



第98号

令和元年9月議会号

令和元年11月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



9月8日、祐徳稻荷神社を主会場に開催された「第22回かしま伝承芸能フェスティバル」
(左：嘉瀬ノ浦獅子浮立 右：上古枝面浮立)

9月定例会	P2～P3
議案審議	P4～P5
一般質問	P6～P10
討論	P11
委員会活動報告	P11～P13
ふるさと納税返礼品ランキング	P13
委員会報告	P14
今後の議会予定	P15
議会あれこれ・編集後記	P16



令和元年 鹿島市議会
9月定例会 会期日程

1、会期
自 令和元年9月6日
至 令和元年10月9日

2、日程
【9月】
6日 開会
・会議録署名議員の指名
・会期の決定
・議案の一括上程
・市長の提案理由説明
(市長の提案理由説明)
7日 休会
8日 休会
9日 休会 (議案研究)
(一般質問)
(発言内容通告締切)
10日 休会 (議案研究)
11日 休会 (議案研究)
12日 決算説明、委員会付託、議案審議、質疑、討論、採決
13日 議案審議、質疑、討論、採決
14日 休会
15日 休会
16日 休会
17日 休会 (議案研究)
18日 休会 (議案研究)
19日 休会 (議案研究)
20日 決算審査特別委員会 (開会、現地調査)

21日 休会
22日 休会
23日 休会
24日 決算審査特別委員会 (一般会計(文教厚生、産業委員会所管分))
25日 休会 (議案研究)
26日 決算審査特別委員会 (一般会計(総務建設、環境委員会所管分))
27日 決算審査特別委員会 (特別会計、水道事業会計、討論採決)
28日 休会
29日 休会
30日 休会 (議案整理)

【10月】
1日 一般質問(4名)
2日 一般質問(3名)
3日 休会 (議案整理)
4日 一般質問(3名)
5日 休会
6日 休会 (議案整理)
7日 休会 (議案整理)
8日 休会 (議案整理)
9日 質疑、討論、採決
閉会

次のことを審議し決定しました

【9月定例会】

議案番号	議案内容	中村日出代	池田廣志	高松昭三	杉原元博	樋口作二	中村和典	中村一堯	稲富雅和	勝屋弘貞	伊東茂	松尾勝利	徳村博紀	福井正	松尾征子	松田義太	角田一美	採決結果	
議案第52号	平成30年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	欠	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第53号	平成30年度鹿島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	欠	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第54号	平成30年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	欠	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第55号	平成30年度鹿島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	欠	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第56号	平成30年度鹿島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	欠	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第57号	平成30年度鹿島市給与管理特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	欠	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第58号	平成30年度鹿島市水道事業会計決算認定について	○	○	欠	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第59号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第60号	鹿島市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第61号	鹿島市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第62号	鹿島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第63号	鹿島市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第64号	鹿島市道路構造の技術的基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第65号	令和元年度鹿島市一般会計補正予算(第3号)について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第66号	令和元年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第67号	令和元年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第68号	佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更に係る協議について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第69号	鹿島市固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	同意
議案第70号	鹿島市教育委員会委員の任命について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	同意
議案第71号	令和元年度鹿島市一般会計補正予算(第4号)について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第72号	鹿島市中村住宅整備事業の事業契約の変更について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	議長	賛成全員	可決
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	適任

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 ※…(監査委員のため審議に参加できない)

議案 審議

議案第62号

鹿島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について



伊東 茂議員

質問 本年10月より幼児教育・保育の無償化に伴う給食費の取り扱いについて、主食費と副食費を

施設（園）が徴収しなければならぬ。昨年度保育料の未納総額が1750万円近くあり、当然、この中には食費も含まれていると考える。施設による実費徴収は保育士の負担が増え、保育士不足に拍車がかかる。行政の支援が必要である。

答弁 条例改正に伴い、市内施設（園）には説明を行なった。食費の徴収には施設の業務負担が増える意見が出た。施設から未納者の相談等があれば協力して取り組む。

議案第65号 令和元年度鹿島市一般会計補正予算（第3号）について



中村 一堯議員

「無電柱化について」質問 今回の街並み整備事業では、祐徳門前商店街の参道に設置されてい

る電柱が移設される予定である。しかし、祐徳神社に訪れる観光客は外苑側の橋の方から来訪し記念写真を撮られる方が多く、その橋沿いや境内には何本も電線や電柱があり美しい風景の妨げになっている。観光客の多くはSNSやインターネットで写真を公開し、世界

中の人が祐徳神社を見ることになる。今後は祐徳神社の境内を通っている電柱等も無電柱化を検討するべき。
答弁 平成27年から祐徳門地区において住民主体の協議会で会議をしているので、今後も提案検討をしていく。

議案第65号

令和元年度鹿島市一般会計補正予算（第3号）について



稲富 雅和議員

「浜小の補修について」質問 浜小学校のモルタル落下の件で、子ども達が夏休みで居なかったの

で良かった。8月13日に早急に修理をしなければならぬ。補正予算であがっているが、議会が終わってからの執行なのか現状をお伺いする。
答弁 2階3階に上がる所の階段で、朝発見した。お盆明けの8月19日に業者に削ってもらい、コン

クリートむき出しなので吹き付け塗装をしてもらう。学校既存の予算で対処して工事を行い9月補正で復活させる。西側東側、片方ずつ塗装工事をしていく。19日の週にすべての学校を認識して異常なかった。

議案第65号 令和元年度鹿島市一般会計補正予算（第3号）について



徳村 博紀議員

「大王袋の道路法面陥没について」質問 市道復旧事業で7月20日～21日に発生した大雨により市道新町・世間線の大王袋付近の道路法面が陥没した。

この件について地域の方から連絡を頂き現状を確認してきたが、道路の危険性と水路利用に支障が出ないように早急に復旧工事をお願いしたい。
答弁 工事については大体の段取りはできている。工期については9月末完工予定である。朝夕通行止めになるが、夕方～夜間は通行可能である。近隣のお住まいの方に迷惑をお掛けする事にな

るが、ご理解を頂きました。
重ノ木地区の道路法面が陥没した箇所



議案第65号 令和元年度鹿島市一般会計補正予算（第3号）について



松尾 勝利議員

「ふるさと納税寄附金について」質問 寄附金の使途につ

いては、産業の振興や安全・安心の充実など8項目の中から寄附者を選んでいただくようになっていくが、寄附額はそれぞれの項目ごとに違っていき、また、恒久的な財源とは限らない。事業に活用するうえで市の基本的な考え方を問う。

答弁 確かにメニューによって寄附額は異なっている。あくまで寄附者の意向に沿って、第6次総合計画を進める事業や鹿島市の魅力的なPRができる事業に使わせていただきたい。

議案第65号 令和元年度鹿島市一般会計補正予算（第3号）について



松田 義太議員

「鹿島市の農業用水利施設について」質問 農業水利施設再編等モデル実施事業として500万9千円計上されている。黒川水系頭首工

統廃合検討業務委託料と説明があったが、具体的にどのような事業なのか、また、地域において、この事業の説明会等実施されているのか。
答弁 県のモデル事業として、黒川水系に設置している9箇所の頭首工の統廃合を検討する事業。市・県の担当者より説明会を実施し、今後も地域との協議を重ね検討していきたい。



黒川水系の頭首工施設

佐賀県鹿島市ふるさと納税返礼品カタログ

鹿島の旬の果物と野菜たち

農産物

鹿島市が発行しているふるさと納税の返礼品パンフレット。

一般質問

一般質問

鹿島市の上下水道の今後について



福井 正 議員

鹿島市の水道事業は、黒字決算が続いており健全経営と思う。下水道は、納富分地区で整備中であり、今後古枝地区の整備もある。経営は厳しい状況が続くと思う。上水道を維持し、下水道整備を進める施策について質問した。

質問一 水道事業は、平成30年の水道法改正により、令和元年10月1日から民営化（水道事業の整備や運営を民間委託が可能になる。水道料金決定や経営を地方自治体が行うこと）が可能になった、鹿島市の方針はどうか。

ある。下水道は全国的に30%の自治体が定額制で経営している。経営戦略会議で定額制を検討してみたい。

質問四 古枝地区の下水道事業の予定は。

答弁 13haを民間資金活用したデザインビルド方式で、令和6年までに整備予定。

質問五 老朽上下水道管の付け替えの予定は。

答弁 水道管は現在年間1キロの予定で整備している。久保山配水池整備が終了した後は、1キロ以上の管付け替えが可能になる。下水管は埋設から25年経過であり、耐用年数50年まで付け替えの必要がない。安全点検は、カメラ等を使い行っている。



新しくできた久保山配水池

長崎新幹線について



松尾 征子 議員

質問一 新幹線の開通がいつになるかわからない状況。長崎本線を今のまま継続させるように取り組むべきだ。協議会で長崎本線利用等の話が進んでいるというが、今のまま継続させようという話はないのか。

答弁 その話はすでに終わっている。鹿島市が自ら手を引いたという時に、やり直せといわれるのは自由だが、それを行ったら協議会はまとまらない。

給食費無償化について

意見 いつも「市が自ら手を引いた」と言われるがそうでない。市長は当時鹿島に居なかったからわかっている。市民一丸となって存続の為に取組んで来た。当時の古

質問一 鹿島市独自で副食費無償化を幼児教育「無償化」により市、園の経営者、保護者がどのように変わるか。

答弁 今回国の制度改正があり保育料の無償化、

川知事と一部政治家により無理に手を引かされた。国やJRが「自ら手をおろした」と言うのなら「そうでなかった」と言うべき。しかし鹿島にいて当時の状況を知らない市長には言えない。

質問二 徴収する保育所は今でも大変なのに保育士等の労働過重が出てくるのでは。

答弁 職員の負担が増えることは確認している。新たに人を雇い入れる補助金等を活用してもらいたい。

質問三 全国で自治体独自で副食費を負担し、無償化が急速に進んでいる。鹿島市としても、副食費の無償化を取り組むことは。

答弁 現段階において無償化を取り組む考えはない。



農的暮らしと鹿島市の農業



樋口 作二 議員

質問一 国際連合などで提唱されている小農や家族農業は、従来の鹿島市の農業政策とどのように違うのか。

答弁 鹿島市では、元々家族単位で行う農業が市の基盤であると考え、親元就農者への支援などを行っている。今後も総合計画を指針として、家族農業を支援していく。

意見 産業農業だけではなく、生活農業（自給的農業）の生産力にも目を向けてほしい。

地方創生と少子化

質問二 水田の環境保全機能に対して森林環境税のように国民が直接税金を支払うような政策はないのか。

答弁 水田をはじめ農地には国土保全など多面的

質問一 中学生以下の子供の数が著しく減少しているが金銭的支援はあるのか。

答弁 新保育料では、三（五歳は無料、非課税世帯は全て無料、また二人目は半額、三人目以上は無料である。

質問二 多子家庭において、小中学生の給食費支援はないのか。

質問四 中山間地区のほとんどの人が暮らす急傾斜地には、新築はできないのか。

答弁 急傾斜地対策工事の行われていない30度以上傾斜の場所では、崖の高さの1.5倍以上離れていなければ原則新築はできない。



質問一 「食品ロス削減法」が成立した。食品ロスが問題になっていく点。

答弁 一般家庭では食べ残しや賞味・消費期限切れによる廃棄、食品業者では企画外品や季節限定品の廃棄等が挙げられる。

質問二 フードバンク活動について聞く。

答弁 食料銀行を意味する社会福祉活動。市内では一般家庭やコンビニ等の協力で、社会福祉協議会による食の提供や食品ロスの解消事業を実施。

質問三 食品ロス削減の取り組みについて。

答弁 HPで紹介。飲食店利用者への「食べきり」の呼びかけや3010運動の推進を行っていく。

質問一 放課後児童クラブの師が訪問を行い、関わりを持つている。

食品ロス削減対策について

質問一 「食品ロス削減推進法」が成立した。食品ロスが問題になっていく点。

答弁 一般家庭では食べ残しや賞味・消費期限切れによる廃棄、食品業者では企画外品や季節限定品の廃棄等が挙げられる。

質問二 フードバンク活動について聞く。

答弁 食料銀行を意味する社会福祉活動。市内では一般家庭やコンビニ等の協力で、社会福祉協議会による食の提供や食品ロスの解消事業を実施。

質問三 食品ロス削減の取り組みについて。

答弁 HPで紹介。飲食店利用者への「食べきり」の呼びかけや3010運動の推進を行っていく。



改築ができない急傾斜地の住宅

一般質問

一般質問

浜小学校天井モルタル落下事故の対応について



中村 日出代 議員

質問一 落下事故発生報告を受けてどのように対応したか。

答弁 まず、市民の皆様にご心配とご迷惑をおかけしたことをお詫びしたい。

事故発生場所については、9月30日に全ての工事が終了した。

質問二 生徒、先生に被害があった場合の補償について。

答弁 災害保険に加入しているので最大四千万円



天井モルタルが落下した浜小

までの補償がある。質問三 今後の安全対策について。

答弁 安全点検を強化する。

青色防犯パトロール車の運用について

質問一 市が所有する青色防犯パトロール車の台数と運用状況について。

答弁 公用車4台、毎週木曜日の午後、2班体制で実施している。

質問二 公民館所有の車両を利用できないか。

答弁 古枝地区では活動されている。また能古見地区は活動を計画中である。

質問三 防犯ボランティア団体の現状について。

答弁 毎年人数が減少し、高齢化が進んでいる。

防犯カメラ設置の推進について

質問一 市内での防犯カメラの設置状況は。

答弁 学校、エイブルなどの公共施設に70基程度設置している。

質問二 危険な通学路の点検結果、防犯カメラを設置しなくても安全とした根拠は。

答弁 学校から19箇所の危険箇所を上げてもらい点検したが、設置の検討はなかった。

質問三 区長会から防犯カメラ設置要望があるが検討しているか

答弁 プライバシーや情報管理の面から対策を検討中だ。



青色防犯パトロール車

災害に強いまちづくりの推進について



松田 義太 議員

質問一 8月下旬の集中豪雨により、県内各地で災害(水害)が発生し、雨水ポンプ場、排水機場

の運営が今後の課題と言われている。鹿島市においては、市内の排水機場

の管理を土地改良区や各地域に委託している。再度、委託している担当者

と災害時対応について、運営事項等を確認すべきではないか。

答弁 これまでは、農地を守るために、操作員の判断に委ねているが、協議を重ねながら災害時の対応をしていきたい。

質問二 排水機場の待機室(休憩室)の防音機能

や空調などの室内環境整備が必要ではないか。

質問三 組方排水機場が稼働しても、その周辺が冠水している。担当課の見解は。

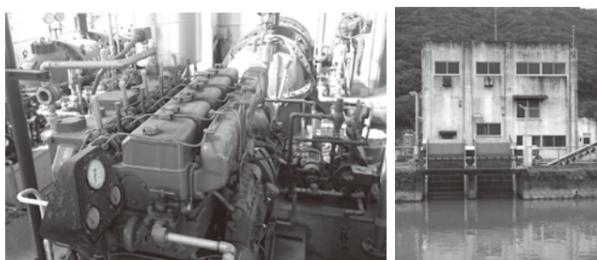
答弁 バイパス自体が堰になっており、バイパスの下を通る暗渠が狭いため、下に溜って流れにくい。また、嬉野の三ヶ崎から市道を越えて流入してくる。構造的な問題なので、今後、地元と協議しながら、対応を考えた。

質問四 災害後、県内各地でボランティアセンターが開設された。当市において、開設マニュアル等検討されているのか。

答弁 予算の範囲で必要な整備を順次実施する。待機室においても、主に暴雨被害が想定される夏場においては、暑さとポンプの騒音などの過酷な環境の中で長時間の従事をしていく事は確認しており、これらの状況を一部でも改善すべく、計画している。

質問五 水災の可能性が高い地域(西牟田、新町、中牟田、北鹿島の中村、乙丸等)では、自主防災組織、消防団と連携し、雨水対策・災害時の対応を開催していくべきと思うが、担当課の見解は。

答弁 市では、これまでも、種々な研修等行ってきたおり、日頃から行政と市民が連携した取り組みが重要と考えている。



土井丸排水機場のポンプ設備(左)と排水機場(右)

鹿島市にとって懸案事項である三道路路網の整備について



中村 和典 議員

質問一 有明海沿岸道路福富〜鹿島間の早期着工及び鹿島市側からの着工を要望できないのか。

答弁 白石町室島南交差点の渋滞緩和対策や事故防止対策の有効手段であることから、鹿島市側からの早期着工について、期成会や構成市町で要望活動を行うべく調整を図る。

質問二 有明海沿岸道路鹿島〜諫早間の地域高規格道路としての指定見込みは。

答弁 この区間は、高規格道路の空白地帯となっているため、救急医療や原子力災害の命の道として、また産業振興の面からも、この道路が重要物

流道路及び地域高規格道路の再編・指定が受けられるよう国に対して要望をして行く。本年度が山場である。

質問三 国道498号鹿島〜武雄まで、安全で走行性の高い道路を、鹿島市側から路線の決定や着工ができないのか。

答弁 鹿島〜武雄間の道路整備は、鹿島市の産業・経済の発展のため、また長崎自動車道へのアクセス道路や原子力災害時の避難路として重要な道路であるため、平成24年度より佐賀県へ要望活動を続けていく。今後は、期成会の中で鹿島市が主体となって勉強会を進め要望活動を実施していく。

質問四 西葉JRガード付近〜母ヶ浦間の道路整備について。

答弁 8月に地元説明会が開催された。道路整備については、現道の拡幅



整備に向けて測量が進む西葉ガード付近

事業を推進するため、本年度中に現地での測量調査を完了する見込みである。

質問五 道路整備と併せて母ヶ浦川水系排水対策

事業も一体的に整備できないのか。

答弁 母ヶ浦川に架かる国道207号の暗渠部分については、橋梁としてはどうかとの意見や要望がある。問題は、末端の排水処理を解決しないと、同様の問題が下流の潮遊地が発生するため全体的な課題解決が必要である。そのため、県の土木事務所や農林事務所の他に河川砂防課や農山漁村課も参加してもらい、より具体的な排水対策勉強会を開催して行く。

放課後児童クラスについて



勝屋 弘貞 議員

質問一 保護者へのアンケートの結果で、設備面で約18%、情報伝達面で約10%が、不満であるとの回答だが対応策は。

答弁 施設面では直ちに全てを一度に改善するのは難しいが、年次計画を組んで取り組んでいく。

情報伝達は、お迎え時に出来るだけ伝えるとか、連絡帳に特に記載することを周知していく。

質問二 支援員より、コーディネート的な存在がいらないとの意見があったが。

答弁 市内のクラブの調整等を図るリーダー的職員のことだと思いが、鹿島市では福祉課職員が全体の調整を行っている。相当のプレッシャーがかかるであろう職員を支援員が担うことがいい事なのか、様々な意見を聞き慎重に対応する。

質問三 他の自治体へ移られる職員がいると聞かれる職員がいます。

答弁 ここ3年の平均で、更新希望者は約84%。支援員認定資格保持者の更新は約97%。

野良猫対策について



質問一 鹿島市の野良猫の生息状況と蟻尾山周辺の取り組みについて。

答弁 蟻尾山・門前商店街・北公園周辺に多いようだ。蟻尾山公園ではH

26年年頃より見受けられるようになり40匹程が確認された。エサやり禁止の看板・監視カメラの設置、捕獲・避妊去勢し元の場所に返すということ、現在20匹程に減少しているが、新たに持ち込まれる個体が後を絶たない状況だ。

一般質問

一般質問

災害時に於ける避難場所の備蓄について



伊東 茂 議員

質問一 大規模停電の場合、避難場所は水洗トイレの使用や携帯電話の充電が出来なくなる。ピオ上層階の「かたらい」など避難者数が増える場所の行政による災害時緊急備蓄の今後の方針を問う。

答弁 下水道区域内に限定されるが鹿島小に設置しているマンホールトイレを市内学校・公民館など地域住民が集まる場所に整備していく。非常用自家発電機は上下水道や空調など出力の高い電力は供給出来ない。そのため、組立て式携帯トイレや携帯型非常用発電機を市内6ヶ所の公民館に備蓄していく。また、自主防災組織が購入する際

は補助金を用意する。

消費税増税による市民生活への影響と経済対策の必要性について

質問一 10月からの増税により市民生活への影響を市長はどのように分析しているのか。更に景気が悪化した場合の本庁独自の経済対策の必要性と公共事業の工事請負額の増額を求める。

答弁 今回の増税により還元される政策は多様化しており分かりづらい内容である。市民が負担する増税分より鹿島市へ配分される交付金は大きいと分析している。景気の悪化は現時点判断できないが、経済対策は必要と考えている。ニューディール構想の仕上げ、第6次総合計画の見直しの中で実現していく。公共工事は積極的に対応する。

区長代表者との意見交換からの要望

質問一 バイパス4車線化に伴う事故防止について鮎越地区から下り、野島の福祉作業所前からバイパスへの右折は危険であり早急な信号機設置を求める意見が出た。昨年9月議会でも一般質問で取り上げた内容だが県警・土木事務所からの回答を問う。

答弁 佐賀県交通規制課から道路交通上の課題として①給食センター側の道路の幅員が狭い事②鮎越方面から古場切線を下り、バイパスの侵入には道路整備が必要③信号機の間隔が狭すぎる点を指摘され、バイパス開通後再検討するとの回答をもらった。



バイパス交差点(野島)

第6次鹿島市統合計画の基本構想について



池田 廣志 議員

目指す都市像とは

質問一 市は、皆が住み易く、暮らし易い街を目指し、生涯を豊かに過ごせる街を造ると明示しているが、大型スーパー等が鹿島・北鹿島地区に偏り、それ以外の4地区では、日用品の買物にも困っている。また、若い夫婦も、家族で買物とか食事する店が少ないので、武雄市や佐賀市まで出掛けている。さらに、市内に就職できる企業や会社も少なく、友人も県外に出て行かざるを得なかったとのこと。これらの事を少しでも解決するため、国道207号鹿島バイパス沿道を一定幅で農

振地域から外し、沿道サービス型の企業を立地し、雇用の創出と生活利便性を図るべきではないか。佐賀県の都市計画マスタープランでは、鹿島バイパスの沿道開発を許容し、生活利便性の高い住宅地域の形成を図ると明記している。街づくりを考え、上でも、通過車輻が増大している基幹道路の沿道開発を促進するべきではないか。

答弁 鹿島バイパスは、圃場整備された一農地のため、沿道開発は出来ないし、その業種も限定されている。大規模開発の話があれば、その時に考えたい。

質問二 武雄では、大規模な沿道開発がなされているが、何故、鹿島で出来ないのか。

答弁 武雄は、二種農地だと聞いている。

企業誘致について

質問一 新たな雇用の場を確保するために、企業誘致に取り組んでいるが、実績が上がらない要因は何か。

答弁 交通基盤が厳しく、過去10年間で、4社が実現。

人口の将来展望について

質問一 地域社会の活力を維持するためには、一定規模の人口が必要であり、そのために、若者等の流出を防止すると共に、一人でも多くの市民が働ける場所の確保が喫緊の課題である。市が取り組んでいる人口減少対策は何か。

答弁 近郊の高校生に対し、市内の企業情報を発信し、就職に結び取組みを始めた。

議案第62号 賛成討論

伊東 茂 議員

鹿島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について。

保育所に子どもを通わせる多くの保護者が以前から要望していた3歳から5歳までの保育料無償化であり、喜ばしい制度と考える。

もちろん、主食費・副食費を施設で徴収しなければならず未納者や滞納者への対応など、施設に負担を負わせる不十分な整備も指摘される。

しかし、以前から「子育て支援」の観点から鹿島市議会でも要望してきた保育料無償化の一步が実現することは歓迎すべきと判断し、賛成討論とする。

議案第52号 反対討論

松尾 征子 議員

平成30年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について

①全日本同和会、部落解放同盟2団体6世帯8人に活動費丸がかえの活動補助金390万393円。他の福祉団体6団体の補助金と比べると不公平。②古くなった市営住宅は解体、土地は民間に売却。警察の跡地を買って新しい市営住宅を建設。無駄だ。③スポーツ合宿誘致に30年度も706万6260円の補助。無駄な事業と支出。

これまでもピオ、新世紀センターの建設、そして今回の警察跡地買入。県関係が優先されて事業が進んできた。市民の生活に直結する要求は置き去りにされている。ニューディール構想計画もおかしな方向へ。市民の要求置き去りの決算に反対。

議案第52号 賛成討論

福井 正 議員

平成30年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について

議案第52号平成30年度鹿島市一般会計歳入歳出決算について、賛成の立場で討論する。決算は、歳入14,938,182千円、歳出14,538,795千円で、黒字決算であった。歳入で市税収入は23,657,446円減少しているが、30億円の大台は確保されている。

寄附金のうち、ふるさと納税額が5億3千万円であり前年度より倍増した。自主財源が37.1%となり前年度より増加している。経常収支比率等各種比率も健全な内容となっている。歳出は干潟交流館(なな海)建設や新市民会館建設の設計、民生費の充実、学校の大規模改築等、民政に寄与する決算であった。

鹿島市消防団と総務建設環境委員会との意見交換

小池団長以下、副団長、副分団長、総務課岩下課長など9名に出席していただき、第1回の意見交換会を行った。

今回は、団員の確保と定数の見直し、消火栓、防火水槽、火災時の放送等の件について、現状と課題についてお互いの認識・情報を確認し、今後の課題解決に向けて今まで以上に密に意見交換などをしていくことを意識した。

条例定数での団員は782名、実際の団員は764名、団員の約8割が勤め人という現状。そのため、日中の出勤率は低いが、夜間の出勤率は高く、団員の意識は高い。

各地区、新入団員の確保が難しいので、辞めることができない団員もいる。各地区で状況が違うので一概には言えないが、各分団ごとに区長にお願いしながら確保されている。重ノ木地区に車庫がないことは、今後の検討課題。

消火栓に関しては、もっと増やしてほしいと意見が出た。防火水槽は2~3台ポンプをつなげるとすぐになくなるので、火災時は水源から防火水槽まで送水できるように対策が必要。

市民の安心安全を守っている消防団が活躍できるように、もっと改善が必要。改善が出来るように今後も会議を進めていく。

- 委員長 稲富雅和
- 副委員長 樋口作二
- 委員 池田廣志 伊東 茂 徳村博紀
- 松尾征子 松田義太

討論

委員会活動報告

議会運営委員会報告

「更なる議会改革、取り組んでいます」

市民の皆さんに身近な市議会としての運営を目指し、現代社会に対応した議会基本条例の見直しやICT導入に取り組んでいます。

本年4月の改選後、議会運営委員会は部課長と会議を行い、ケーブルテレビで本会議（一般質問）をご覧の市民の皆さんに分かりやすい質疑応答を行うために、質問関連の写真映像の使用に加え、執行部の出席は部課長以下全員出席を取りやめ、業務に支障がないように、各議員、質問に関係有る市長はじめ部課長のみ出席・答弁に変更しました。

加えて7月30日には市内6地区、区長会長との意見交換会を開き、毎年開催の議会報告会を市民の皆さんとの有意義な意見交換会の場となるように、参加を促す開催場所や日時、取り上げる内容について貴重なご意見を頂きました。

また、区長会と連携を深め、市内6地区からの要望事項の早期解決、実行に向け協力していくことを確認しました。

今後も議会改革ランキング上位の市議会との勉強会や市民の皆さんのご意見を積極的に取り入れ、身近な市議会を目指します。

議会運営委員会

委員長	伊東 茂
副委員長	松尾 勝利
委員	徳村 博紀
委員	稲富 雅和
委員	中村 一堯
委員	杉原 元博

平成30年度鹿島市ふるさと納税返礼品 上位20品目

順位	品目カテゴリー	謝礼品（種類・重量など）	件数
1	定期便（野菜）	肥前の国のお野菜定期便（6ヶ月）	3,049
2	みかん	佐賀県産「温州みかん」 約11kg	2,741
3	食肉	【熟成肉】佐賀県産黒毛和牛 すきやき肉 430g	2,209
4	みかん	“やーらしか”鹿島産みかん サイズ小粒 約5kg	1,342
5	海苔	新撰佐賀のり 焼50枚	1,100
6	みかん	“やーらしか”鹿島産みかん サイズ小粒 約10kg	763
7	みかん	ハウスみかん 2.5kg	666
8	みかん	さが美人（みかん）約5kg	632
9	みかん	佐賀県産「不知火（しらぬい）」 7.5kg	628
10	定期便（野菜・果物）	肥前の国のお野菜・果物定期便（6ヶ月）	617
11	マンゴー	佐賀県産完熟！まっちゃんマンゴー（2～3玉入）	600
12	野菜	新たまねぎ 約10kg	552
13	海苔	【有明海産】焼き海苔《艶》 30枚	493
14	野菜	肥前の国のお野菜詰め合わせセット	421
15	米	さがびより 白米 3kg	411
16	その他加工品	無添加 100%国産レモン果汁 2本セット	342
17	海苔	佐賀海苔 3本詰め合わせ	339
18	定期便（米）	さがびより 白米 5kg 定期便（6ヶ月）	334
19	食肉	佐賀産和牛 450g（しゃぶしゃぶ・すき焼き・鉄板焼き）	311
20	海苔	日本一の佐賀海苔「佐賀丸」6袋セット	297

文教厚生産業委員会での活動について 各種団体との意見交換会

1. 放課後児童クラブ支援員との意見交換会について

実施日：令和元年7月9日（火）午後2時30分～

場所：西部地区 鹿島小学校 中村 日出代 委員、勝屋 弘貞 委員
角田 一美 委員、杉原 元博 副委員長
東部地区 古枝小学校 中村 和典 委員、松尾 勝利 委員
福井 正 委員、中村 一堯 委員長

【主な意見について（一部抜粋）】

- ① 室外では子ども達が遊べる場所が狭いので、増やしてほしい。
- ② 保護者さんとの連携は取れるが、幼稚園・保育園・小学校との連携が取りづらい。
- ③ 放課後児童クラブで働いた経験のない人でも安心して働ける場所にして欲しい。
- ④ 消耗品の年間予算（3万円前後）では足りない。現状は切り詰めてやっている。
- ⑤ 他市に比べると福利厚生が整っていない。支援員の働く環境 改善が必要。

→意見交換会をふまえて、鹿島市市民部福祉課との意見交換・協議を実施した。

実施日：令和元年8月19日（月）午後1時

場所等：第1委員会室写真

【今後鹿島市が改善する事項】

- ① グランドや体育館については社会体育との使用状況を協議しながら、子供達がのびのび遊べるように改善していく。
- ② 幼稚園・保育園・小学校とさらに連携をはかり、情報共有や支援を行っていく。
- ③ 雇用開始前の事前指導や現場見学、スキルアップの研修などに力を入れていく。
- ④ 各クラブの予算を超えた場合、ある程度予備費を設定しているので、それに対応する。
- ⑤ 来年度は賃金面、処遇面の改善について福祉課として検討する。



2. 鹿島市福祉協議会との意見交換会について

実施日：令和元年10月7日（月）午後4時～

場所：市民交流プラザかたらい3階 中会議室
中村 日出代 委員、中村 和典 委員、
勝屋 弘貞 委員、松尾 勝利 委員、
角田 一美 委員、杉原 元博 副委員長、
中村 一堯 委員長
鹿島市福祉協議会 事務局長、課長、
他4名出席

【主な意見について（一部抜粋）】

- ① 社協の事業は、行政と比べて長い期間をかけて取組む事業が多い。
- ② 地域ごとに社会福祉事業に合ったやり方があり、現在、鹿島モデルを構築中。
- ③ 各集落の自治公民館が、常時開放されていれば、コミュニティ事業もより多く取組むことが出来ると考えている。



意見交換会后、委員会で継続して現在も協議を行っている。

令和元年11月22日告示 11月29日招集

鹿島市議会 令和元年12月定例会 会期日程(案)

1. 会期 自 令和元年11月29日(金) 22日間
 至 令和元年12月20日(金)

2. 日程

日次	月日	曜	開議時刻	摘要
第1日	11月29日	金	午前10時	・開会 ・会議録署名議員の指名 ・会期の決定 ・議案の一括上程(市長の提案理由説明)
第2日	11月30日	土		・休会
第3日	12月1日	日		・休会
第4日	12月2日	月		・休会(議案研究) 発言内容通告締切(正午)
第5日	12月3日	火		・休会(議案研究)
第6日	12月4日	水		・休会(議案研究)
第7日	12月5日	木	午前10時	・議案審議、質疑、討論、採決
第8日	12月6日	金	午前10時	・議案審議、質疑、討論、採決
第9日	12月7日	土		・休会
第10日	12月8日	日		・休会
第11日	12月9日	月		・休会(議案整理)
第12日	12月10日	火	午前10時	・常任委員会(議案、請願)
第13日	12月11日	水		・休会(議案整理)
第14日	12月12日	木	午前10時	・一般質問
第15日	12月13日	金	午前10時	・一般質問
第16日	12月14日	土		・休会
第17日	12月15日	日		・休会
第18日	12月16日	月	午前10時	・一般質問
第19日	12月17日	火		・予備日(一般質問)
第20日	12月18日	水		・休会(議案整理)
第21日	12月19日	木		・休会(議案整理)
第22日	12月20日	金	午前10時	・委員会報告、議案審議 ・質疑、討論、採決 ・閉会

決算審査特別委員会委員会報告

去る9月12日の本会議に付託された議案第52号から議案第58号までの7議案について、9月20日、24日、26日、27日の4日間にわたり決算審査特別委員会を開催した。

まず、20日に議案関係5か所の現地調査を行った。

①トレーニングファーム整備推進事業、②交通安全施設等整備事業、③鹿島市民体育館電気設備改修工事、④久保山配水池改修事業 新久保山配水池築造工事、⑤伝統的建造物群保存地区対象事業(H29繰越)旧水頭家

24日より市長、副市長、教育長、担当課職員出席のもと、審査に入った。

【企画財政課から平成30年度の決算状況と主要施策の成果説明】

- 一般会計は、歳入149億3818万2千円、歳出145億5477万9千円、3億8340万3千円の黒字決算。
- 公共下水道事業特別会計は、歳入15億3967万4千円、歳出15億3962万4千円、5万円の黒字決算。
- 谷田工場団地造成、分譲事業特別会計は、歳入2627万2千円、歳出は同額で、本特別会計は平成30年度末をもって廃止し、剰余金2596万7千円は一般会計へ繰り出す。
- 国民健康保険特別会計は、歳入37億9853万4千円、歳出37億1046万8千円、8806万6千円の黒字決算。
- 後期高齢者医療特別会計は、歳入4億1916万2千円、歳出4億1756万円、160万2千円の黒字決算。
- 給与管理特別会計は、歳入19億6273万、支出額も同額。
- 水道事業会計は、収入5億4330万9千円、支出4億4743万4千円、9587万5千円の黒字決算。

監査委員から7議案について一括して概要報告

「審査に付された歳入歳出決算書及び同付属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、係数についても関係諸帳簿及び証拠書類と照合の結果、適正に表示されていた。

また、予算の執行については、歳入の確保と歳出予算の効率的な執行に配慮しながら各種の施策が推進されており、各会計とも予算計上の趣旨に沿って適正に処理されていた」との報告を受けた。

説明後、直ちに審査に入り、本委員会に付託された7議案に対し、各委員会から多項目にわたる質疑があり、質疑終了後に、討論・採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定することに決した。

決算審査特別委員会委員長 松尾勝利

決算審査特別委員会 日程

- 9月20日 午前10時開会、主要成果説明書の概要説明、決算審査の概要報告、現地調査箇所の事業概要説明。午後より現地調査5か所
- 9月24日 午前10時より終日。一般会計歳入歳出決算認定について質疑(文教厚生産業委員会所管分)
- 9月26日 午前10時より終日。一般会計歳入歳出決算認定について質疑(総務建設環境委員会所管分)
- 9月27日 午前10時より終日。特別会計5議案の一括質疑。水道事業会計の質疑。議案第52号から議案58号の一括討論、採決。

議会あれこれ

(令和元年7月1日～10月9日)

7月

- 1日 議会だより編集委員会
公共交通対策特別委員協議会
まちづくり対策特別委員協議会
- 3日 杵藤地区広域市町村圏組合議会7月臨時会
- 4日 議会運営委員会
- 9日 文教厚生産業委員協議会・現地視察
- 11日 議会だより編集委員会
- 17日 議会だより編集委員会
- 25日 公共交通対策特別委員会
- 26日 文教厚生産業委員協議会
- 29日 県知事・市町議会議長懇話会
- 30日 議会運営委員協議会

8月

- 3日 鹿島おどり参加
- 8日 佐賀県市議会議長会議員研修
- 19日 文教厚生産業委員協議会
四市議会議員交流会
- 20日 議会運営委員会
杵藤地区広域市町村圏組合議会事前勉強会
- 27日 杵藤地区広域市町村圏組合議会8月定例会
- 29日 鹿島・藤津地区衛生施設組合議会8月定例会
- 30日 全員協議会
総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会

9月

- 4日 議会運営委員会
- 6日 9月定例会 開会 議案の上程
(～10月9日)
まちづくり対策特別委員協議会
総務建設環境委員協議会

9月

- 12日 9月定例会 議案審議 質疑、討論、採決
(～13日)
ICT活用推進プロジェクト会議
- 13日 全員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 20日 決算審査特別委員会(現地調査)
議会運営委員会
- 24日 決算審査特別委員会(一般会計)
- 26日 決算審査特別委員会(一般会計)
公共交通対策特別委員協議会
- 27日 決算審査特別委員会(特別会計・水道事業会計)
議会報告会プロジェクト会議

10月

- 1日 9月定例会 一般質問(～4日)
- 2日 総務建設環境委員協議会
- 4日 全員協議会
議会報告会プロジェクト会議
- 7日 文教厚生産業委員協議会
- 8日 公共交通対策特別委員協議会・市内循環バス実態調査
- 9日 9月定例会 委員会報告、質疑、討論、採決 閉会
全員協議会
まちづくり対策特別委員協議会

議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	令和元年7月		令和元年8月		令和元年9月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰	1	21,600	0	0	0	0	1	21,600
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	1	3,000	1	5,000	0	0	2	8,000
会費	2	9,000	1	8,000	1	4,000	4	21,000
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	1,200	0	0	1	1,200
合計	4	33,600	3	14,200	1	4,000	8	51,800

編集後記

今年の「秋」、どのように楽しんでおられますか。

私の場合、「スポーツの秋」は、ワールドカップで日の丸を背負い戦う選手の姿に涙してクリア。「芸術の秋」は、鹿島市文化祭で多くの作品や催しを楽しんでクリア。「食欲の秋」は、自然食の料理教室に参加し、改めて食の大切さを見つめ直してクリア。「読書の秋」は、新聞や雑誌等以外はあまり読んでいないような…。最後の手間でレシピ本を読み、キャベツ相手に千切り千本。それを、作った料理と一緒に美しい皿に盛り付け、感謝して食す。これって、一石四鳥？

何に取り組むにしろ、まずは一歩前へ。鹿島市には、お一人お一人が心豊かな人生を送って頂くため、様々な切り口でスポーツや芸術文化事業が準備されています。議会では鹿島市が一歩一歩前進し、皆様が安全で安心して暮らせる街になるよう努めてまいります。



【編集委員】
委員長 勝屋 弘貞
副委員長 徳村 博紀
委員 中村 日出代
" 樋口 作二
顧問 松田 義太

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。